

2020年度卒業時満足度および成長実感の分析

－ 共通学生調査（卒業時調査） 2020 の結果より－

大学企画室・IR推進部会

■ 調査期間：2020年12月21日～2021年1月31日

■ 調査対象：全学部4年生（卒業予定者766名）

■ 調査方法：WEB調査（Lime Survey）※回答選択＋一部記述式

■ 在籍者数：766名※2020年12月1日

■ 回答状況

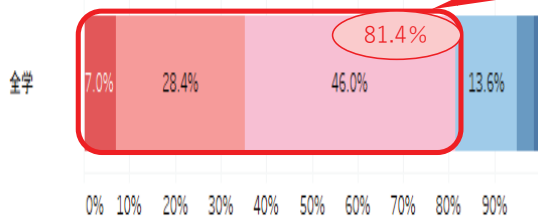
	学年	対象者数	回答者数	回答率
全学	4年生	766名	704名	91.9%

■ 赤色：ポジティブ回答（満足・成長実感がある・能力が増えた）

■ 青色：ネガティブ回答（不満・成長実感がない・能力が減った）

1. 卒業時の満足度

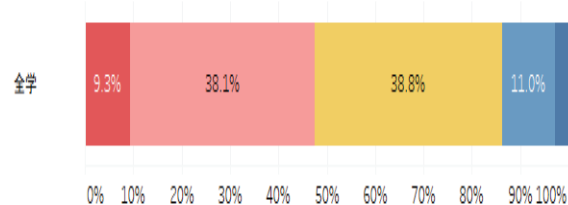
【2020年度調査】



■ とても満足 ■ どちらかといえば不満
■ 満足 ■ 不満
■ どちらかといえば満足 ■ とても不満

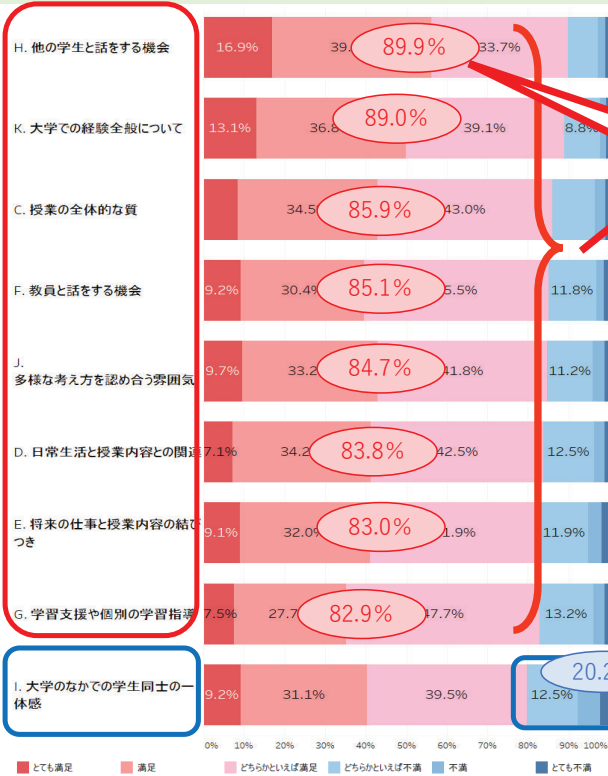
【全学】
4年生の8割以上
満足

【2019年度調査】



■ とても満足 ■ 不満
■ 満足 ■ とても不満
■ どちらでもない

1 - (1) 本学の教育内容・環境に対する満足度



「教育内容・環境」満足度は高い
ほとんどの項目で4年生の8割以上が満足

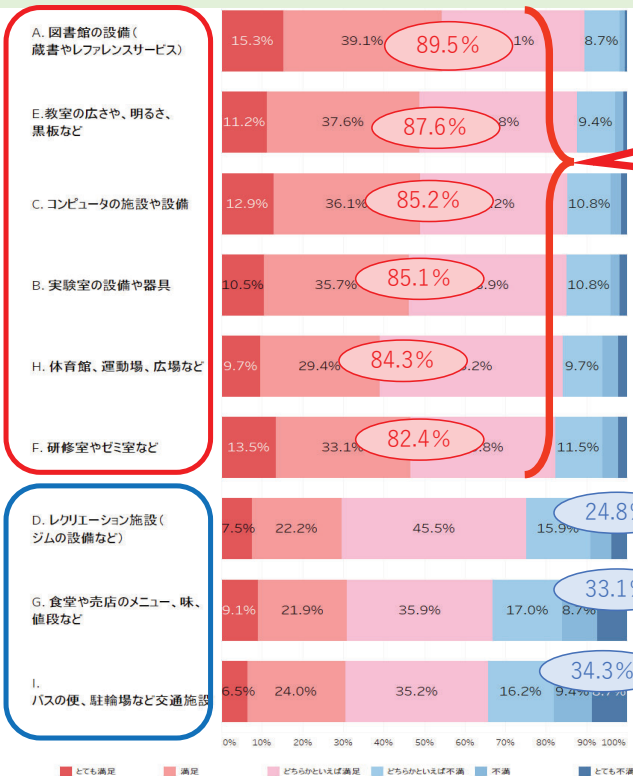
【最も満足層が多かった項目】

「他の学生と話をする機会」
(満足層：89.9%)

【最も不満層が多かった項目】

「大学のなかでの学生同士の一体感」
(不満層：20.2%)
→コロナにより登校機会が減少したことが影響？

1 - (2) 本学の施設設備に対する満足度



施設設備

【教育研究関連】

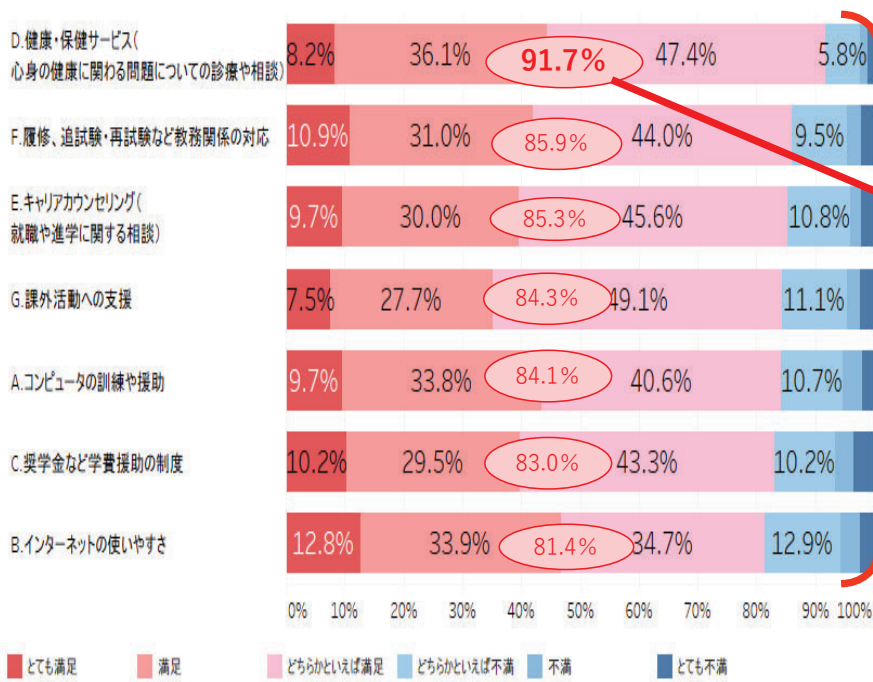
4年生の「8割以上が満足」

施設設備

【教育研究以外（学生サービス関連）】

満足度が低い
4年生の「3割前後が不満」

1 - (3) 大学の学生支援・制度に対する満足度



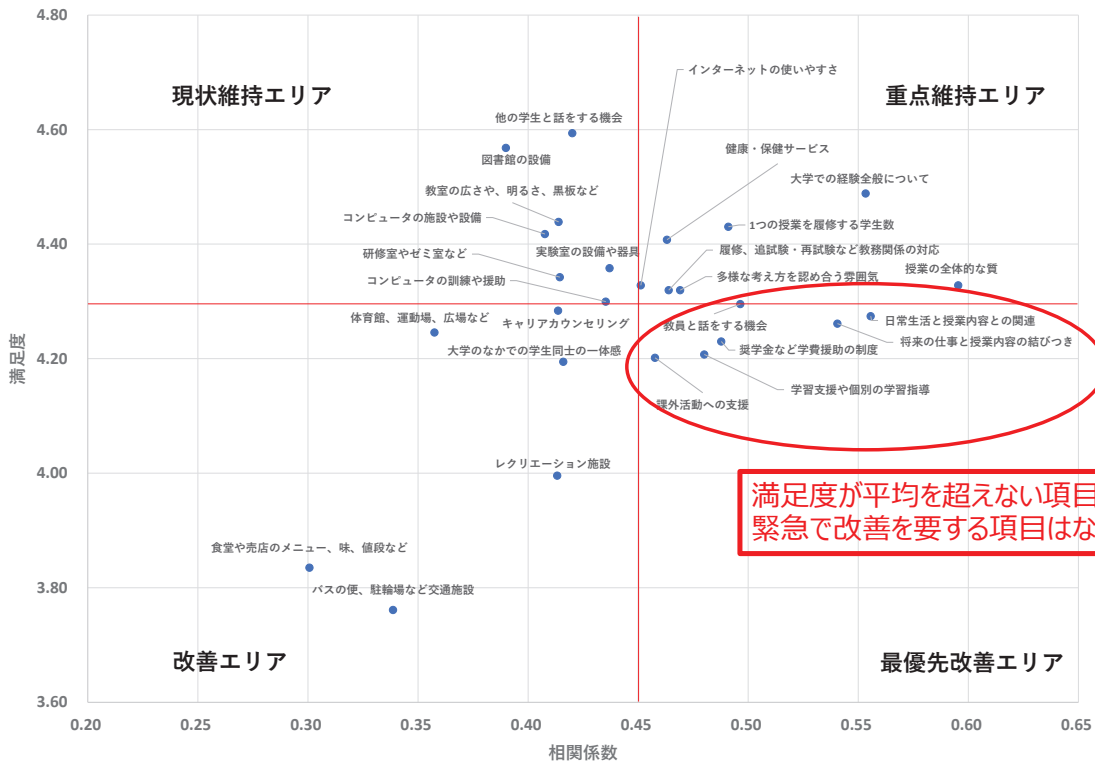
【学生支援・制度】
全般的に満足層の割合が高い

「健康・保健サービス」の満足層が特に多い

満足度(1)~(3)共通の課題

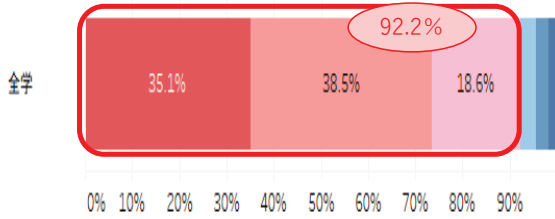
消極的満足層(どちらかといえば満足)の満足度を上げるための取組み

別紙(1) ポートフォリオ分析(卒業時の満足度)



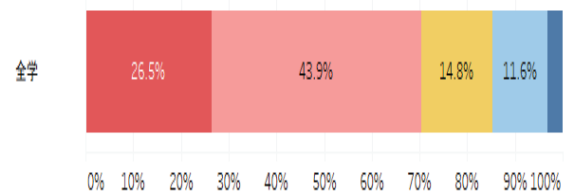
2. 卒業時の成長実感

【2020年度調査】



【全学】
4年生の9割以上が
成長を実感している

【2019年度調査】



ある
少しある
どちらかといえばある
どちらかといえばない
あまりない
ない

ある
少しある
どちらでもない
あまりない
ない

2 - (1) 入学した時点との能力変化

